

平成 21 年 11 月 13 日

各 位

会 社 名 IMV株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 岡本 二郎  
 (JASDAQ・コード7760)  
 問合せ先  
 役職・氏名 経営企画部長 桂井 徹  
 電話 06-6478-2565

## 平成 21 年 9 月期業績予想と決算値との差異に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 8 月 7 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 21 年 9 月期 連結業績予想の差異等 通期 (平成 20 年 10 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

|                              | 売 上 高 | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 当 期 純 利 益 | 1 株 当 たり 当 期 純 利 益 |
|------------------------------|-------|---------|---------|-----------|--------------------|
| 前回予想 (A)                     | 4,400 | △50     | △60     | △195      | △11 円 93 銭         |
| 今回修正 (B)                     | 4,158 | △173    | △178    | △324      | △19 円 86 銭         |
| 増減額 (B-A)                    | △241  | △123    | △118    | △129      |                    |
| 増 減 率                        | △5.5% | —       | —       | —         |                    |
| (ご参考) 前期実績<br>(平成 20 年 9 月期) | 5,717 | 248     | 292     | 147       | 8 円 95 銭           |

#### 2. 平成 21 年 9 月期個別業績予想の差異等 通期 (平成 20 年 10 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

|                              | 売 上 高 | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 当 期 純 利 益 | 1 株 当 たり 当 期 純 利 益 |
|------------------------------|-------|---------|---------|-----------|--------------------|
| 前回予想 (A)                     | 4,400 | △70     | △65     | △195      | △11 円 93 銭         |
| 今回修正 (B)                     | 4,153 | △200    | △187    | △335      | △20 円 53 銭         |
| 増減額 (B-A)                    | △246  | △130    | △122    | △140      |                    |
| 増 減 率                        | △5.6% | —       | —       | —         |                    |
| (ご参考) 前期実績<br>(平成 20 年 9 月期) | 5,708 | 158     | 219     | 105       | 6 円 42 銭           |

### 3. 差異の生じた理由

平成 21 年 8 月 7 日開示の業績予想において、顧客設備投資予算の抑制による受注の低迷により売上高の減少を予想しておりましたが、一方では期末の売上計上を目指し、短納期製品である小型振動シミュレーションシステムや制御器等の単体製品の拡販に注力してまいりました。しかしながら、例年であれば期末に向けて客先の予算消化の観点から受注が増加する当該製品につきましても想定を下回る受注となり、また同様に回復を見込んでおりましたメジャリングシステムや受託試験、修理・点検といった比較的low価格帯の製品・サービスにつきましても回復は限定的ありました。さらに、振動シミュレーションシステムの大規模案件について、検収の一部が次期に繰り越されたこと等も重なった結果、予想をしておりました売上高を下回る結果となりました。利益面につきましては、売上高の減少による限界利益の減少により営業利益及び経常利益が下回り、当期純利益におきましては繰延税金資産を取り崩したことから、予想を下回る結果となりました。

以 上